

保護者会報

第43号(2010年7月20日)
東海大学山形高等学校
保護者会
山形市成沢西3-4-5
TEL(023)688-3022

保護者会活動に望むこと

保護者会会長
大山雅彦



大山雅彦会長

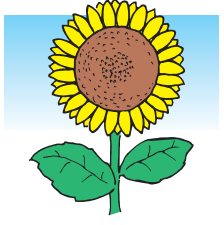
保護者の皆様からは、常日頃から学校及び保護者会活動の円滑な運営にご理解ご協力を賜りまして、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。今年度、保護者会会長をお引き受けすることになりました。皆様のご協力を持ちまして一年間の重責を果たしてまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の保護者会活動については、「参加型」でありたいと願っております。現二年生・三年生は特に、小学校・中学校時代に比べて学校に足を運ぶ機会が減ったと感じておられると思います。担任の先生と部活動の担当の先生としか話したことがない保護者の方も多いのではないのでしょうか？確かに義務教育の小中学校とは違いますが、現在では高等学校も同様の状況にあるのは異論の

ない事実です。「参加型の保護者会活動」と言いますが、いろいろな活動が考えられます。例えば、私学助成の署名活動、私学大会・建学祭への参加、バザーへの協力、部活動の応援、授業参観・学級懇談会への参加、環境整備活動への協力、吹奏楽定期演奏会への参加などです。考えてみますと、年間三六五日分の回数日です。是非時間を取って頂き参加をお願いします。

これらの活動を通して、保護者間の親睦、学校教職員との交流を図ることは決してマイナスになることはなく、プラスに作用すると考えます。生徒諸君が勉学・部活に目覚ましい成果を残しております。保護者会も生徒諸君に負けるようではありません。学校も保護者会活動が活発になり、保護者の参加数が増加することは大歓迎でしょうし、心強く感じるはずですよ。

保護者の皆様には保護者会活動の趣旨をご理解の上、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【紙面紹介】

- 1面 保護者会会長のことは
環境広報部
プランター植替え作業
- 2面 山内校長のことは
【特集】
部活動保護者会
・囲碁将棋部
- 3面 クラス懇談会
- 4面 建学祭バザー
協力をお願い
私立高校実質無償化を
求める署名について
私学助成署名運動の
お願い
編集後記

色鮮やかに 華やかに



お疲れ様でした!

大きく開き、きつと今以上に華やかな花壇になることでしょう。ぜひご覧ください。

朝九時半から約二時間、蒸し暑い中での作業となりましたが、みなさん、さわやかな汗を流していたようです。環境班の皆さん、ありがとうございました。

七月四日(日)、保護者会環境班の保護者の方十一名、そのご家族のみなさん、保護者会会長、JRC、先生方、総勢二十六名で、プランターと花壇の植替え作業が行われました。

「生徒や先生方に、朝登校したときから、明るい環境の中で心穏やかに学校生活を送ってもらいたい。」という願いから始まったこの活動も、今年で三年目を迎えました。この活動も、今年で三年目を迎えました。回数を重ねるごとにプランターや花の数も増え、正門周辺から生徒昇降口に続く通路脇や昇降口前、西門脇の花壇は大変華やかになっていきます。

毎回講師としてお迎えしている「花ひこうき」の式野社長より、約二十種類の花の説明を受け、どのようにしたら色や全体がバランスよく仕上がるかを実践を交えて教えていただきました。和やかな雰囲気の中で、みなさんそれぞれの「作品」作りに熱中していました。また、西門脇の花壇には、青、赤、ピンクなど、色の流れを考えて数多くの花が植えられました。これから花が



みんな真剣です

信じて挑む力

校長 山内 励



山内励校長先生

二〇一〇FIFAワールドカップ南アフリカ大会が日本中を沸かせました。大会前の日本チームは思うような成果が出せず、ワールドカップの国民関心度は前回・前々回の六割弱に対し三割強に落ちました。岡田武史監督に対しても、サポーターの九割が交代を希望していたと言われています。しかし、一次リーグのカメルーン戦で勝利した後は、国民の六割が監督の采配を絶賛し、本田圭佑選手は一躍「時の人」となりました。日本国内にはワクワク感が高まり、デンマーク戦に圧勝してボルテジは一気に加速され、決勝リーグのパラグアイ戦では惜敗したものの、日本チームの力は世界の舞台で通じるといふ印象を残しました。

国民関心が変わりやすいのは、「期待」と「不満」の相反する感情を解消しようとする集団心理から来るのだそうですが、開戦までの期間、監督も選手も非難の声に随分苦しんだことでしょう。しかし、そのどん底から生まれた新しいチームの力や、

自分や仲間を信じて挑む力、「奇跡」ではなく「必然」をつくろうとする熱い思いが、今回の成果につながったと言われています。

道を進むことが簡単なことではないことは、何もスポーツに限ったことではありません。本校卒業生たちの中にも、苦勞しながら自分の信念を貫き通している人がたくさんいます。お笑い界で活躍する漫才師ロケット団の三浦昌朗さんもその一人です。高校時代の先生や友人たちの中に、誰が今日の売れっ子漫才師の姿を想像した人がいたでしょうか。三浦さんは、暗く長い下積み時代を経て今日に至ったことを吐露しています。自らの選んだ道を信じて挑み続けて来たからこそ、今日の彼の姿があるでしょう。

今、生徒たちはさまざまな活動に果敢に挑戦しています。今年度、本校からは空手道部・柔道部・男子陸上競技部・囲碁部が全国大会に出場します。一方、思わぬところで不覚を取った部活動もあります。それらの部活動も、自分や仲間を信じて挑み続けられ、必ずや晴れの舞台がやってくる。

今年度の生徒会スローガン「温故知新」始めの一步は自分から。これは、これまで作り上げてきたものをしっかり見つけ、そこに新しいものを積み上げて行こう、一人ひとりがその主体になろうという目標です。これは、挑戦し続ける者には、大切な視点です。生徒一人ひとりが、自分の足元をしっかりと見つけ、自分や仲間の可能性を信じて何かに挑み続けること、それを願い、保護者の皆様と共に見守りたいと思います。

部活動特集 囲碁・将棋部



次の一手は何だろう？

努力

囲碁・将棋部保護者

佐藤 充

充

東海大山形囲碁・将棋部は、他校と比べて人数不足が否めず、分が悪いと感じますが、それでも部活動の活躍は目ざましいものがあります。

近年、囲碁部二人の活躍は驚きの一言であります。一昨年、昨年と二年連続での東北大会出場。また、五月に行われた県大会では個人、団体共に準優勝を果たし、七月下旬に東京で行われる全国高校囲碁選手権、八月下旬に宮崎で行われる全国高校総合文化祭囲碁部門と、二つの全国大会出場決定。今は来る全国大会へ向け練習の日々です。頭脳の甲子園とも呼ばれる全国

大会……。各都道府県の強豪を相手にどこまで行けるか、影ながら期待を抱いているところでもあります。

さて、親として二年間、囲碁・将棋部の活躍を見てきました。が、あまり強く言えません。というのも、私の身の周りで囲碁を打てる人は一人もいないのです。私なんかはルールさえ知りません。中学校に部活もなく、部員二人は独自に勉強し、お互いに高め合った仲だそうです。

先ほどの個人、団体の準優勝。実は部員不足で今まで団体として出場することは出来ませんでした。そこでどうしたか。将棋部から一人を勧誘し、三人目のメンバーとして大会に参加させたのです。結果、個人は勿論のこと、団体でも準優勝というのは素晴らしいこと、親としても大変喜ばしいことであります。

囲碁というのはサッカーや野球のようなチームプレーとは違い、完全なる個人競技です。素人なので強く言えませんが、一局で起こる良い手、悪い手全てが自分の責任です。団体ならば多少のチームワークも必要でしょうが、他の人が勝っても自分が負ければ意味がない。やはり個人



佐藤充氏

人技術が大きくモノを言います。私には、部活の活動は見守ることが出来ません。しかし、全国大会が決まった以上、親として大いに期待しています。今回の結果は、読売新聞にも取り上げられました。東海大山形囲碁部の名が広まった証拠であります。(と言えば言い過ぎでしょうか。)- 選手の一人として大いに楽しんで来て欲しいと思います。良い結果を出し、新たに後輩が入部すれば、部活としても活気づくと思います。是非皆さん、応援の程よろしくお願います。

盛会! クラス懇談会

三年三組

七月二日(金)、山形国際ホテルにて三年三組のクラス懇談会が開かれました。一昨年、昨年と参加人数は十名以上(十三名中)と出席率八十%を超えていましたが、今年は参加人数五名ということで、大変こじんまりとした会となりました。

三年次ということで、やはり進路の話で盛り上がりました。東海大学の特別学力推薦により内定を勝ち取った話や、中間試験に向けた家庭学習において、今までになくくらの頑張りを見せた話など。また、少人数ということもあって、子どもたちの話もさることながら、保護者のみなさんの仕事に関わる話、余り聞くことができない裏話なども聞くことが

できました。担任の皆川先生は、普段は生徒の話を中心のためか、保護者の方自身の話を大変新鮮に感じて聞いていらつしやつたようです。今回は少人数での開催となったため、秋にもう一度、生徒を交えての芋煮会でリベンジしようという誓い合いました。ぜひ次回は多数の参加をいただき、卒業までの子どもたちの成長を共に見守り、進路決定に向けて応援していきましょう。



親父の会 3年3組

三年四組

七月二日(金)の十九時より、旅籠町のル・パルクというレストランで、三年四組のクラス懇談会が開催されました。夏らしい涼しげな器に盛られた美味なフランス料理を、参加者全員で堪能することができました。進路に向けての話や、先日の体育祭等の写真を見ながら、三時間があつという間に過ぎてしまいました。親交が深まり、今後の活力になる充実した会になりました。



和気あいあい 3年4組

二年三組

七月三日(土)、二年三組のクラス懇談会が、山形市内の割烹『飯豊』で開催されました。今回の企画は、保護者会役員顔合わせの折に、クラス委員の佐藤さんからの発案で実施される運びとなり、クラス担任の庄司信広先生、学年主任の田村章先生、保護者が十一名、総勢十三名のとて賑やかな会となりました。保護者同士の堅苦しくない語らいの場となり、先生方を囲み、楽しい時間を過ごすことが出来たと思っております。

担任の庄司先生からは、新しいクラスの生活の状況、授業中の様子、中間試験への取り組みや成績結果について、先日大成功だった体育祭の活躍ぶり、修学旅行事前学習に向けての取り組みや進路希望調査結果の傾向などなど、盛りだくさんのお話。このようなお話は、懇談会などに参加しなければ伺えないようなことばかりです。また、懇談の中では、保護者一人ひとりの自己紹介も含め、最近の子

供たちの生活の様子や家庭学習の状況、親としての悩みなどをざつぱらんに話し合うことが出来ました。父親は父親としての悩みや不安があります。それをお互い共有し合うことによって、「どの親も同じような悩みを抱えているんだ。」と少しだけほっとしたような気持ちになりました。担任の先生が用意してくださった「桜の下の集合写真」、「真つ黒に日焼けした体育祭の集合写真」を眺めながら、話が盛り上がりすぎたのでしょうか、自己紹介がなんと二順してしまおうというハプニングも起こってしまいました。このように先生方に貴重なお話を伺い、保護者の方々と親しくお話をさせて頂き、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回参加できなかった保護者の方々にも、次の機会には是非参加して頂き、親同士の交流を持って頂きたいと思えます。高校二年生は、とかく「中だるみの学年」と言われますが、「中だるみ」させないためにも、親同士が一致団結し、子供たちをしつかりと支え、来年に控えた「進路目標」達成に向けて力を合わせていこうと話し合いました。



一致団結 2年3組

私立高校の実質無償化署名運動へのご協力ありがとうございました

私立学校で、すべての子どもたちが経済的な心配をせずに進学したい学校を選び、安心して学べる教育機会をつくるために、「山形県私学助成をすすめる会」では毎年私学助成運動を実施しています。今年度は、「私立高校の実質無償化を求める署名」と「私学助成署名」の二つの運動を行っています。

この春から、国の対策によって公立高校は無償になりました。しかし、私立学校では、山形県の場合、就学支援金が支給されても、大変厳しい負担が保護者に残ります。こうした保護者負担の改善と私立学校の実質無償化を求めて、四月から署名運動

を実施し、本校の保護者の皆様からも、多大なるご協力をいただきました。また、この期間、先生方や生徒諸君は山形市内での街頭署名運動や、全国から集まった私学関係者三二〇〇名(山形からは五十四名)による銀座パレードに参加するなど、積極的に無償化運動を行ってきました。その結果、本校では一〇八七五筆の署名と八九〇七〇円の協力をいただきました。お忙しい中を署名運動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

なお、お寄せいただきました署名と協力は、六月二十一日に総理大臣、文部科学大臣に提出されました。

私学助成署名運動・私学大会参加のお願い

今後の運動として、「私学助成署名運動」があります。「私学助成」とは、国や都道府県が、私立学校やその学校に通う生徒の保護者に行う金銭的補助制度のことです。現状としては十分な保障内容とはいえず、保護者に多大な経済的負担が強いられ、それは公立と比べて約五倍にもなっています。その負担軽減のため、私学の教育改善のためにも、補助金を増やしてもらうことが必要です。

このような私学の生徒や保護者の声を県や県民に伝えるために、毎年「私学大会」が開催されています。各PTA連合会も主催団体に加わり、保護者の皆様からも大きな力を寄せていただいております。これまでに参加された保護者の方からは、「私学助成をはじめ、私学の置かれている状況が分かった。」「国や県からの補助が公立と比べてこれほどの差があるとは思わなかった。」「私学振興への関心の高さを感じた。」などの感想をいただきました。

今年度は十月三日(日)、午後一時より、山形テルサにて行われる予定です。この大会を盛大で意義のあるものとするために、ぜひご参加ください。そして、「私立高校の実質無償化を求める署名」と同様、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。



署名ありがとうございました

8月29日 建学祭バザー 出品大募集!!

ご自慢のハンドメイド品や日用品などetc...

保護者会では建学祭で「バザー」を開催、収益は学校の教育環境の充実に役立てていただいております。今年はいつもとより早い8月29日に開かれますので、皆様から品物の提供をお願いします。新しいものなら、タオル、衣類、日用品、ハンドメイド品など何でも結構です。ご提供は三者面談や担任の家庭訪問などいつでも結構です。学校までお寄せください。皆様方のご協力をお願いいたします。



野菜の種類も豊富です

編集後記

小、中学校とは違い、高校の保護者会は、なかなか縁遠いという方も多いと思います。この会報で、少しでも保護者の皆さんが、学校や保護者会を身近に感じてくださればと思っています。

この広報誌に原稿を寄せてくださった方々、ご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。

また、ご意見やご要望などありましたら、どんどんお聞かせください。次号に反映させていただきますので、お待ちしております。

環境広報部長
貝和良 和



アイデアを出し合いながらの編集作業